

美濃ハツラツ通信

地区の世帯数 159世帯
地区の人口 373人
高齢化率 47.6%
(平成26年8月1日現在)

美濃地区振興センター・美濃公民館

美濃地町イ140-1 ☎29-0031

今年もやって来ました『美濃の里』



「明日になれば太陽に向かって咲くあのひまわりのように私もいっぱいの笑顔であなたに会いに行くわ・・・」kiroroの歌の一節です。お盆で帰省される人たちの想いを受けとめようと「ジャズミンの会」のみなさんの愛情で育てられた、ひまわり。そして、その想いを天まで届けたいと「ぼんぼりの会」のメンバーによってひとつひとつ灯された、夜空の綺麗星のように輝くぼんぼり。美濃の里が真夏色に輝きました。



夏越の大祓(茅の輪潜り神事)

6月30日(月)

<有田恵比寿神社>



茅の輪(ちのわ)の起源については、神代の昔、素盞鳴尊(すさのおのみこと)＝武塔神(むとうのかみ)が蘇民将来(そみんしょうらい)に一夜の宿を借り熱いもてなしを受けたお礼に、茅(かや)で作った輪をお授けになりました。「もしも疫病が流行したら、茅の輪を腰につけると免れる」といわれ、そのとおりにしたところ、一族は疫病から免れることができたという故事に基づきます。茅の輪(茅草(かやくさ)で作られた大きな輪)は、正月から六月までの半年間の罪穢(つみけがれ)を祓う夏越しの大祓(おおはらえ)に使用され、それをくぐることにより、疫病や罪穢が祓われるといわれています。茅の旺盛な生命力が神秘的な除災の力を有すると考えられたものだと思います。今年も見事な「茅の輪」が有田恵美須神社に奉納されました。ちなみに茅の輪の茅(かや)を引き抜いて持ち帰ってはだめですよ。茅の輪潜りは本来、本来は罪や穢れ・災厄を茅に移して無病息災を祈る風習です。ですから、茅の輪の茅を持ち帰るといことは、色々な人が移した罪や穢れ・災厄をわざわざ自宅に持ち帰るとい行為につながるそうです。

※誌面構成の都合上、掲載が1カ月遅れとなりました。申し訳ありません。

夏休み学習会

7月22日(火)～24日(木)

<中西小学校>

梅雨の晴間、朝からジリジリと太陽が照りつける中、夏休み中の子供たちの学習意欲を向上させようと「夏休み学習会」が実施されました。美濃地区からは3日間で6名の方が参加して、4年と5年生の勉強を見ていただきました。美濃の「赤ペン先生(?)」はすぐに答えは出せるのですが、その過程を子供たちに説明するのに四苦八苦・・・美濃っ子たちは地元の顔なじみの皆さんに勉強を見てもらうことで、安心し集中力も増した学習会でした。



人権・同和教育合同研究会

8月1日(金)

<美濃地区人権・同和教育推進協議会>



13回目を迎える二条・美濃地区合同の人権・同和教育研究会が二条公民館で開催されました。今年は元島根県立松江東高校校長の中村清志さんが「大切なことを物語るために」をテーマにご講演下さいました。美濃地区からも12の方がご参加くださいました。「親が子供に出来ることはほんの少ししかない。親がまっとうに生きることが大事」と話す中村さん。大人と子供、親と子の関わり方を考えさせられる時間となりました。

人権とは「人間が人間らしく幸せに生きていくための権利ある」と言われますが、それは普段の生活にこそ反映されなければならないものだとして改めて考えさせられました。



暦こらむ

9月 1日		二百十日【雑節】
2日	上弦	
8日	十五夜	白露【二十四節気】
9日	満月	
11日		二百二十日
16日	下弦	
23日		秋分の日【二十四節気】
24日	新月	旧暦 長月(九月)朔(一日)

= 第4回【中秋の名月】 =

旧暦八月十五日のお月さまを「中秋の名月」と呼びます。「仲秋の名月」という表現もありますが、これだと、十五夜の月に限定されなくなります。旧暦の考え方では、七月・八月・九月が「秋」です。旧暦七月が初秋、同八月が仲秋、同九月が晩秋と呼ばれ、仲秋の名月と書くと、旧暦八月全体の月を指します。対して「中秋」とは「秋の中日」つまり、旧暦八月十五日のみを指すのです。

ところで、中秋の名月は満月だと思いませんか？ 実はそうではありません。『旧暦では月の満ち欠けを見て日付決めていますが、新月から満月になるまでの日数が毎回15日であるとは限らないため、十五日は満月ではない可能性があります。むしろ満月ではないことが多いようです。』今年中秋の名月(十五夜)は9月8日、満月の前日となります。まだ満たぬ月すら「名月」と愛する日本人の感性には改めて驚かされますね。加えて、中秋の夜に雲などで月が隠れて見えないことを「無月(むげつ)」、中秋の晩に雨が降ることを「雨月(うげつ)」と呼び、月が見えないながらもなんとなく、ほのかに明るい風情を称するものとされているそうです。

※このコラムでは太陰太陽暦(旧暦)を漢数字、太陽暦(新暦)を数字で記載しています。今回は「月と野菜」を予定しています。

「神号額」奉納

8月1日(金)

<美濃地八幡宮>



美濃地八幡宮の「神号額」が新調され、奉納されました。「神号額」は、神社の名前や御祭神などを刻むことが多いようですが、美濃地八幡宮は「八幡宮」とだけ刻まれています。八幡宮は、八幡神を祭神とする神社の総称です。ところで、「八幡様ってどなた？」と思われたことはありませんか？ 八幡神は源義家が石清水八幡宮で元服し八幡太郎と称したことから、広く武家の氏神という印象をもたれていますが、



応神天皇御母(誉田別尊ホンダワケノミコト)と神宮皇后(息長足姫命イキナガアシヒメノミコト)、神武天皇の御母(玉依姫命タマヨリヒメノミコト)この三柱の神様を併せて八幡神と呼びます。詳しいことは、美濃地の歴史と共に中島宮司さんに聞いてみたいと思っています。ちなみに八幡神はご慈愛深く、人々を厄事、邪気からご守護くださるといわれます。

老人クラブ映画鑑賞会

8月4日(月)

<美濃地区老人クラブ>

初めての老人クラブ会員の親睦と慰労を兼ねて、映画鑑賞会を開催しました。上映されたのはマキノ雅彦監督の「寝ずの番」。上方落語の入門で師匠、一番弟子、おかみさんが次々と亡くなり、それぞれのお通夜の席で「寝ずの番」をする弟子や故人ゆかりの温かい仲間たちが、悲喜こもごもの思い出話に花を咲かせる人情物語です。上映が始まると公民館は皆さんの大きな笑い声と満面の笑顔で包まれました。上映後も、忘れかけていた若かり頃の「歌」を思い出されたようで、皆さんの笑顔がとても印象的でした。



盆行事

8月14日(木)

<美濃公民館>

公民館三大事業、『盆行事』が盛大に開催されました。

詳しくは裏面をご覧ください。



開会式

本郷下の真庭信八さんの選手宣誓でゲームが始まりました。



選手宣誓

東軍

城九郎自治会
本郷下自治会
河内自治会

vs.

本郷上自治会
有田下自治会
有田上自治会

西軍

東軍 12点
西軍 14点



西軍優勝



仮装

初盆供養



金踊り



大抽選会

お知らせ

有田下の三浦 満 様が「**島根県農業会議 会長**」並びに「**益田市農業委員会 会長**」にご就任されました。
先般、第22回の**全国農業委員会統一選挙**（1期3年）が行われ、当地区選出の三浦 満 様が10回目の当選をされ、重ねて、引き続き**会長**（5期目）に就任されました。
また、その後、松江で開催された系統組織の**島根県農業会議**において件の会長にも選出され、きわめて重要な役職を担う事となりました。
農業委員会は行政委員会として、農地の利権移動について許認可や農地転用の業務等、農地行政の適正な執行と、地域農業・農村の発展のため、「優良農地の確保と有効利用」「担い手の確保・育成」など、地域農業の更新に向けた取組等を行政と一体となって担っております。今後のご活躍を地区民として応援し、期待をしたいと思います。

何これ!?

島田スエノさんの畑で収穫された「かぼちゃ in かぼちゃ」です。時として、自然は人間の常識を超えた悪戯をするものです。そして人間は何かの予兆だと騒ぎだてる。時には自然の悪戯を楽しみましょう。



美濃地区自治組織設立準備会を設立しました!

(地域魅力化応援隊員)

8月6日センター運営委員会で、正式に美濃地区自治組織設立準備会が発足しました。これは**地域魅力化プロジェクト**の一環で、「定住促進」「地域のまち作り計画」「部会設立や住民自治機能の強化」「自分達の組織活動」の基本となる**自主運営組織の構築を目的とした準備会**です。この会では美濃地区の将来を見据えた講習会、研修会、聞き取り調査等を実施する予定です。また、美濃地区の機運に合わせ応募した「**小さな拠点**」づくりモニター調査地域に当選しました。これは国土交通省国土政策局と調査受託業者が連携して該当地域のモニター調査に取り組む事業です。美濃の小さな声が国政に反映される可能性を期待し、地域皆様の積極的なご協力をお願いします。地域の皆様の声を聞かせてください。

安全安心ささえ愛自動販売機

美濃公民館では**益田市防犯協会**に協賛し、「安全安心ささえ愛自動販売機」を玄関脇に設置しました。益田市の安全安心まちづくりの一環として、売り上げの一部は、青パト隊や防犯カメラの設置、犯罪被害者支援等の事業に寄付されます。



案山子四人衆参上!

<本郷上有志他>

河野商店北側の県道脇に案山子が現れました。古くは人の髪の毛やぼろ布を焼いた物を置き、鳥獣が嫌がるにおいを出して田畑を荒らされるのを防ぐためのもので、においを嗅がせる意味の「カガス」がなまって「かかし」になったそうです。漢字の「案」は机のことで、机のように平らで低い山、「案山」にある田畑を守る「子」(人・人形)という意味だそうです。この4体の案山子は本郷上の**椋木道子**さんを中心とした有志により作成されましたが、田畑だけでなく地区民の「笑顔」も守りたいとの願いが込められています。



美濃診療所のご利用を!

<益田市医師会>

【9月診療日予定】

火曜日	木曜日
2日	4日
	11日
16日	18日
	25日
30日	

【診療時間】13:30~

【これからの地区内行事予定】

9月 3日(水)	結核検診	9:30~19:40	【有田下集会所】
3日(水)	結核検診	10:00~10:25	【美濃公民館】
7日(日)	中西小中学校合同運動会	9:00~	【中西中校庭】
10日(水)	肺がん検診	14:20~14:30	【美濃公民館】
15日(月)	地区敬老会	11:00~13:00	【美濃公民館】
28日(日)	美濃地区ふれあい運動会	8:30~12:00	【元美濃小校庭】

※行事の詳細はその都度ご案内いたします。日程は変更される場合もあります。